

## “釜石最後の芸者”舞台化「艶子姐さん」 名取裕子さん主演で10月29日 花街の粋超え継承

共同通信

エンタメ

文化芸能

2023年10月12日 ● 共同通信

岩手県のある釜石芸者の生涯が今月、初めて舞台化される。各地の花柳界が後継者不足を危惧する中、花街の粋を超え、東京・八王子芸者へと継承された「芸」がある。取材を続けるフリーライター浅原須美さんにつづってもらった。

× ×



釜石市の料亭「幸楼」で開かれた宴席。伊藤艶子さん（左）は木村めぐみさんの三味線に合わせてうたった＝2014年6月、岩手県釜石市（撮影・筆者）

“釜石最後の芸者”として知られた伊藤艶子さん（2016年、89歳で死去）の波乱の人生をテーマにした語りと踊りの舞台「艶子姐さん」が、俳優名取裕子さん主演で10月29日、岩手県釜石市の市民ホールで上演される。

東日本大震災の津波で自宅をのまれ、三味線や着物など一切を流され、着の身着のまま旧釜石一中体育館の避難所に身を寄せた艶子さん。避難所には国内外の多くのマスコミが取材に訪れ、艶子さんの存在を報道した。

### 【1年間無料】弥生のクラウド会計ソフト

弥生株式会社

### エンタメランキング

最先端の体験と情報発信 TOK...

10月17日 ● 共同通信

ケンコバがオートレーサー姿「物...

10月17日 ● 共同通信

爆笑問題「NGリスト」「ドラマ...

10月16日 ● 共同通信

増田有華、昔の自分に寄り添うよ...

10月16日 ● 共同通信

広瀬香美「世界観発信できる歌い...

10月16日 ● 共同通信

### 新聞社の新着記事

環境省、福島県外最終処分へ新組...

08時55分 読売 福島民友新聞

学生に臨時免許「待った」 文科...

08時49分 読売 沖縄タイムス

鯨

08時42分 読売 下野新聞

「社会に不安与えた」 南相馬強...

08時35分 読売 福島民友新聞

久高氏、那覇市議の辞職検討か ...

08時31分 読売 沖縄タイムス

### [PR]特別企画

PR特別企画：株式会社関電エネルギーソリューション  
ヤオコーが挑む

省エネと快適性の両立



Kenesとヤオコーが挑む省エネと快適性の両立

[PR]特別企画をもっと見る

窮状を知った東京・八王子芸妓組合の元組合長で芸者の木村めぐみさん（61）は、同じ芸者として艶子さんの悲しみが痛いほどよく分かったのだという。居ても立ってもいられなくなり、2011年5月初めに三味線を届けに避難所を訪れた。「迷惑ではないでしょうか」と釜石市役所に確認した上での行動だった。



旧釜石一中の避難所で、木村めぐみさん（左）にお座敷唄を伝える伊藤艶子さん＝2011年6月、岩手県釜石市（撮影・筆者）

艶子さんは、東京から見ず知らずの芸者さんが三味線を届けに来てくれたことに感激し「神は私を見捨てなかった」と思ったという。艶子さんは釜石でただ一人残った芸者だ。芸を受け継ぐ後輩芸者がおらず、自分がいなくなったら芸も一緒に消えてしまうことを憂いていた。

初対面で意気投合した2人は、釜石のお座敷唄を八王子の芸者衆が教わる約束を交わす。芸者の芸は本来、同じ花街の中で引き継がれる。東北に根付いたお座敷芸が、東京の芸者にじかに手渡されるのは異例だ。

筆者は、全国の花柳界を対象に取材を続けていた関係で、めぐみさんと5年来の知己であった。その話に興味を持ち、同年6月、復旧したばかりの東北新幹線で避難所に稽古に向かうめぐみさんに同行した。八王子から釜石まで片道6時間以上かかる。日帰りのため避難所にいられるのはわずか1時間半足らずだ。

再会のあいさつもそこそこに、狭いマットレスの上で艶子さんが三味線を弾き、うたい、踊る。その一画は現実とかけ離れた異空間となり、艶子さんは被災者から一人の芸者に戻っていた。

めぐみさんは翌7月、八王子の後輩芸者5人と一緒に避難所を再訪問した。避難所は閑散とし、1カ月前より稽古場として使えるスペースが広がっていた。震災のショックで足を痛め、歩くのもままならなかったはずの艶子さんが、稽古の最中はきびきびと動き、まるで痛みを忘れたかのようなだった。



旧釜石一中の避難所を訪れた八王子芸者衆に「釜石浜唄」の踊りを教える伊藤艶子さん（右）＝2011年7月、岩手県釜石市（撮影・筆者）

2人の交流は、それぞれの地元の仲間や応援団をも交え、釜石と八王子を行き来しながら、16年に艶さんが亡くなるまで続き、釜石の情景と繁栄を表現した「釜石浜唄」「釜石小唄」は、八王子の芸者衆に伝授されていった。

めぐみさんは「艶おねえさんが惜しげもなく教えてくださった芸を、後世に残るよう、つなげたい」と浜唄と小唄を正確に譜面に起こした。

筆者はこの出来事は単なる個人的な美談ではないと捉えている。今や後継者不足で消滅の危機にひんしている花柳界は全国に少なくない。高齢の芸者が体で覚えている芸を、異なる花街の芸者が受け継ぐという、芸の継承方法の一つとして注目すべきだと思う。

今回の舞台では、1933年の昭和三陸津波を含めた四度の津波と、太平洋戦争末期の艦砲射撃を乗り越え、力強く生き抜いた艶さんの一生が表現される。東日本大震災後の一連の出来事も描かれ、めぐみさんら八王子芸者衆も出演する。

総合プロデューサーの小田島弘枝さんは「艶さんの人生を描くことが、自然災害の恐ろしさや戦争の愚かさに目を向けるきっかけになったと思う」と語る。



舞台「艶子姐さん」の公演ちらし

主役の名取さんは、艶子さんが困難にぶつかっても希望を捨てず、できることを続けたパワーに最も引かれるという。「艶子さんを支えた『芸』という形のないものの力や強さをぜひ伝えたい」と話す。艶子さんのスピリットが表現される舞台が多くの人の目に触れることを願う。

2011年9月、筆者が仮設住宅を訪ねた際に、艶子さんが発した言葉がよみがえる。「身についた芸は流されなかった。負けてたまるか、私は強いよ」

(フリーライター 浅原須美)

### 関連記事・おすすめ

- 遺遁の記【15】芸術の一回性に触れ「...  
07時00分 共同通信
- ケンコバがオートレーサー姿「物干し...  
10月17日 共同通信
- 最先端の体験と情報発信 TOKYO...  
10月17日 共同通信
- 『パリピ孔明』第4話 「MCバトルな...  
07時00分 オリコン
- Aえ! group小島健、減量&大胆シーン...  
07時00分 オリコン
- 『コタツがない家』“夫婦”小池栄子&...  
07時00分 オリコン



- 爆笑問題「NGリスト」「ドラマ考察...  
10月16日 共同通信
- 増田有華、昔の自分に寄り添うように...  
10月16日 共同通信
- 広瀬香美「世界観発信できる歌手を...  
10月16日 共同通信
- 木梨憲武、所ジョージの代打で初「ダ...  
07時00分 オリコン
- 寺脇康文、『相棒』復帰2年目 亀山...  
06時10分 オリコン
- 水谷豊、リアル“聞き込み”に遭遇 警...  
06時05分 オリコン

